

*すばる建設予定地の現地調査でもらった本

筆者は1987年9月～12月にかけて大型光学赤外線望遠鏡建設予定地のサイト調査に行った。大型光学赤外線望遠鏡の不動点の高さを決める調査で、マウナケア山頂の接地乱流を避ける高さの調査である。この調査の実行部隊は野口猛氏、宮下暁彦氏と筆者の3人が交代で現地に入り、筆者はしんがりを務めた。その調査はハワイ大学との共同研究として行われ、ハワイ大学側のパートナーがBruce Barnes氏であった。ろくに英語が話せなかった筆者と彼は仲良く仕事をした。予定された日程が終わり帰国の準備をしているとホテルにやって来た彼が「今上陛下聖徳景仰録」という本と一緒に仕事をした記念にと手渡してくれた。彼は、日本語は話せなかったし、読めなかったから、この本がどんな本か知っていたとは思えない。どこで手に入れたか知らないがずいぶん立派な装丁で分厚い本なので日本人なら喜ぶと思ったのかもしれない。写真1がその本であるが、18.5cm(横)×26cm(縦)×11.5cm(厚さ)もある。



写真1 「今上陛下聖徳景仰録」

この本をもらったばかりに、旅行用のスーツケースを1個買い足さなければならなかった。筆者は天皇制に興味を持っていなかったのも、この本をもらっていきさか迷惑であったが、この本が天皇について書かれたものとは分かっていて日本人なら喜ぶと思ったのであろう。好意であるから一応ありがたくいただき、日本に持ち帰り本箱の一隅を占めていたが、これも「すばる」建設の1ページには違いないので、アーカイブの対象として収蔵しておくことにした。

編纂兼発行者は、帝国公民教育協会 代表者 澤本健三、発行年月日は1939年（昭和14年）12月15日で非売品である（写真2）。

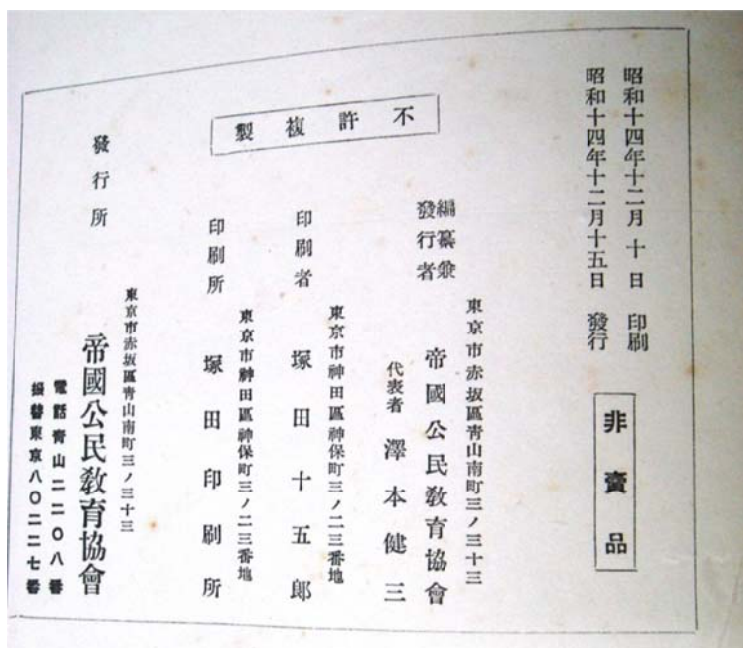


写真2

Bruce Barnes 氏とは非常にいい関係で仕事をした。写真3はサイト調査の微熱乱流測定
の鉄塔で作業をする Bruce Barnes 氏である。写真4は Bruce Barnes 氏のお宅に林左絵子
氏と招かれた際の写真である。林左絵子氏の右は Bruce 夫人である。



写真3 鉄塔作業をする Bruce



写真4 Bruce の家で

分厚い本の表紙をめくったページの左肩に写真5のメッセージが書かれている。

筆者は「すばる」の建設が始まってしばらくした1994年4月からハワイに赴任し、ハワイ大学の88インチ望遠鏡のクルーに Bruce の消息を尋ねたが、誰も彼の消息はご存じなかった。

1987年、我々が「すばる」の建設予定地でサイト調査をやっていた頃、写真3に写って

いるように KECK 1号機が建設途中であった。

大型光学赤外線望遠鏡「すばる」は現在、世界最高性能の望遠鏡の一つとして大活躍である。この調査は早、すでに27年前のことになってしまった。

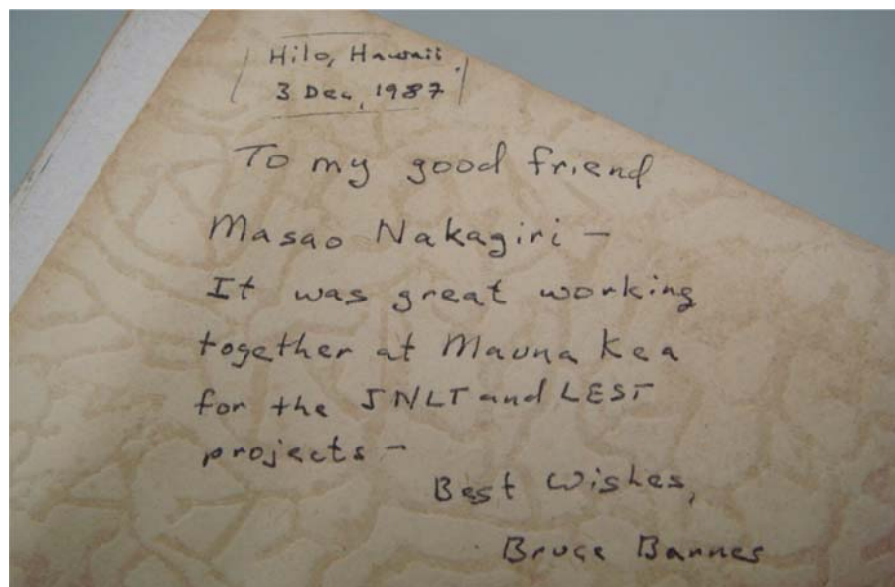


写真5 Bruce氏のメッセージ

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcanoaj@pub.mtk.nao.ac.jp